8月26日(金)
ポスター発表（賞応募ポスター）

賞応募ポスター（★マーク）のスピードトークは8月26日(金) 11:30～12:10 (P01～P10,P20～29,P39～48), 12:40～13:20 (P11～P19,P30～P38,P49～P57)
コアタイムは8月26日(金) 13:30～14:30 (P01～P57)

8月26日(金) スピードトーク1　11:30～12:10/ コアタイム 13:30～14:30　ポスター会場1
ポスター発表（賞応募ポスター）

P-01 ★ 外来種キョンとニホンジカの生息地利用と日周活動のニッチ分割
○上野 大輔, 平尾 聡秀（東京大学）

P-02 ★ 半蹄行性動物肢端部の三次元データから見る蹄行性進化に伴う骨形態変化
○武田 精一郎[1,2], 遠藤 秀紀[2]（[1]東京大学大学院農学生命科学研究科, [2]東京大学総合研究博物館）

P-03 ★ ニホンジカとニホンカモシカの蹄形態の比較
○居樹 希実[1], 西脇 慶[2], 小畠 結[1], 村上 麻美[1], 森部 絢嗣[1]（[1]岐阜大学応用生物科学部, [2]岐阜大学大学院自然科学技術研究科）

P-04 ★ マイクロサテライト解析を用いた北海道と岐阜県におけるニホンジカ集団の遺伝的多様性の評価及び遺伝的類縁関係の解明
○大谷 昂[1], 森部 絢嗣[1,2], 鈴木 正嗣[1], 只野 亮[1]（[1]岐阜大学応用生物科学部, [2]岐阜大学社会システム経営学環）

P-05 ★ 歯のないシカのはなし
○久保 麦野, ウィンクラ ダニエラ（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

P-06 ★ カモシカはシカよりも植物に気を使う？なわばり性と非なわばり性有蹄類の採食行動の種間比較
○髙田 隼人（山梨県富士山科学研究所）

P-07 ★ なぜニホンジカは多雪地に生息できるのか―生息地評価モデルからみる越冬戦略－
○赤松 萌鈴[1], 江成 はるか[1], 山下 純平[1], 千本木 洋介[2], 江成 広斗[1]（[1]山形大学, [2]南会津町農林課）

P-08 ★ シカ死体をめぐる雑食性哺乳類の種間関係とその季節変化
○稲垣 亜希乃[1], Allen L. Maximilian[2], 栃木 香帆子[1], 丸山 哲也[3], 小池 伸介[1]（[1]東京農工大学, [2]イリノイ大学, [3]栃木県）

P-09 ★ 千葉県房総半島におけるイノシシの生態系エンジニアとしての機能の検証～ヌタ浴びが森林棲両生類に与える影響とは？～
○佐京 楓, 羽部 優衣, 中島 啓裕（日本大学生物資源科学部）

P-10 ★ シカと鉄道の衝突事故の発生に周辺環境が与える影響
○野澤 秀倫[1], 安藤 正規[2]（[1]岐阜大学大学院自然科学技術研究科, [2]岐阜大学応用生物科学部）

8月26日(金) スピードトーク4　12:40～13:20/ コアタイム 13:30～14:30　ポスター会場1
ポスター発表（賞応募ポスター）

P-11 ★ ニホンジカを捕獲するために考案した軽量ネット製囲いワナの有効性
○角川 敬造[1], 西村 光由[2], 山本 浩之[1]（[1]和歌山県果樹試験場, [2]愛知県農業総合試験場）

P-12 ★ トド*Eumetopias jubatus* 年齢既知個体に基づく頭蓋骨の詳細な加齢変化
○弓削 龍之介[1], 小林 由美[2], 山村 織生[1]（[1]北海道大学水産科学院, [2]北海道大学農学院）

P-13 ★ 2019年に羅臼町において集団座礁したイシイルカの食性
○松田 純佳[1,2], 桑垣 彩乃[3], 小林 万里[3], 松石 隆[1,2]（[1]北海道大学, [2]ストランディングネットワーク北海道, [3]東京農業大学）

P-14 ★ 鳥類の卵を食べる外来哺乳類は誰？～神奈川県二子山山系における擬巣実験を通して～
○神田 有香音, 谷口 理巧, 中島 啓裕（日本大学生物資源科学部）

P-15 ★ カンガルー類とコアラ類における眼窩構造の進化学的適応
○中川 梨花[1], 遠藤 秀紀[2]（[1]日本大学, [2]東京大学総合研究博物館）

P-16 ★ 哺乳類に利用される林道の特徴：舗装と植生の影響
○鈴木 美緒, 斎藤 昌幸（山形大学大学院農学研究科）

P-17 ★ 野生動物GPSデータの事前処理：外れ値以外の怪しいデータの除外方法
○平川 浩文[1], 瀧井 暁子[2], 泉山 茂之[2], 村松 大輔[3,4,5], Gordo Marcelo[6]（[1]無所属, [2]信州大学山岳科学研究拠点, [3]京大WRC, [4]JST/JICA, SATREPS, [5]奈教自然セ, [6]UFAM／Brazil）

P-18 ★ 養豚場の衛生管理区域内外における野生動物の出没状況
○七條 知哉[1], 東出 大志[1,2], 大森 鑑能[1], 池田 敬[1,2], 鈴木 嵩彬[1], 鈴木 正嗣[3]（[1]岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター, [2]岐阜県野生動物管理推進センター, [3]岐阜大学応用生物科学部）

P-19 ★ 福島第一原発事故による長期間の 避難指示 の指定が中大型哺乳類の生息状況に与える影響
○山根 理貴, 山﨑 晃司（東京農業大学）

8月26日(金) スピードトーク2　11:30～12:10/ コアタイム 13:30～14:30　ポスター会場2
ポスター発表（賞応募ポスター）

P-20 ★ 世界自然遺産徳之島におけるイエネコ捕獲個体の糞内容物分析
○髙橋 芳歩[1], 鈴木 魁士[1], 伊澤 あさひ[1], 塩野﨑 和美[2], 亘 悠哉[3], 宮下 直[1]（[1]東京大学, [2]奄美自然研, [3]森林総合研究所）

P-21 ★ 水及び土壌からのフイリマングースの環境DNA検出系の確立
○荒谷 友美[1], 入口 友香[1], 中尾 遼平[2], 佐藤 拓真[3], 城ヶ原 貴通[3], 諸澤 崇裕[1], 川本 朋慶[1], 浅野 真輝[1], 橋本 琢磨[1]（[1]自然環境研究センター, [2]山口大学大学院創成科学研究科, [3]沖縄大学経法商学部）

P-22 ★ 岩手県盛岡市の都市部に生息するハクビシン（*Paguma larvata*）の高頻度利用地点の季節変化
○福島 良樹[1], 原科 幸爾[2,3], 西 千秋[4]（[1]岩手大学大学院連合農学研究科, [2]岩手大学農学部, [3]岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター, [4]合同会社岩手野生動物研究所）

P-23 ★ タヌキの骨格形態に基づく性的二型：ロードキル個体の性判定に向けて
○竹本 怜夏[1], 鈴木 聡[2], 金子 弥生[1]（[1]東京農工大学, [2]神奈川県立生命の星・地球博物館）

P-24 ★ ddRAD-seq法による、オスに偏った分散がヒグマの島嶼個体群形成に及ぼす影響
○遠藤 優[1], 長田 直樹[1], 間野 勉[2], 永野 惇[3,4], 増田 隆一[1]（[1]北海道大学, [2]北海道立総合研究機構, [3]龍谷大学, [4]慶應義塾大学）

P-25 ★ 人間の存在がニホンテンの行動様式に与える影響
○森川 周[1], 角田 裕志[2], 平尾 聡秀[1]（[1]東京大学, [2]埼玉県環境科学国際センター）

P-26 ★ 北海道占冠村における圃場で捕獲されたヒグマのGPS追跡
○伊藤 哲治[1], 根本 唯[2], 下鶴 倫人[3], 坪田 敏男[3], 浦田 剛[4]（[1]酪農学園大学野生鳥獣管理学研究室, [2]東京農業大学奥多摩演習林, [3]北海道大学大学院獣医学研究院野生動物学教室, [4]占冠村）

P-27 ★ ユーラシアカワウソの音声コミュニケーションに関する基礎研究

○中村 千穂[1]，森本 真央[2]，小川 博[2]（[1]公益財団法人ふくしま海洋科学館，[2]東京農業大学）

P-28 ★ 道路景観に対するツキノワグマの移動様式と選択性の検証
○BAEK SEUNGYUN[1]，島崎 斐[2]，栃木 香帆子[1]，長沼 知子[3]，稲垣 亜希乃[1]，山崎 晃司[4]，小池 伸介[1]（[1]東京農工大連合農学研究科，[2]東京農工大農学府，[3]国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構，[4]東京農業大学地域環境科学部）

P-29 ★ 付着散布型種子の付着数の種間差に及ぼす動物側の要因の検討
○佐藤 華音[1]，小池 伸介[1]，後藤 優介[2]（[1]東京農工大学農学府，[2]ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

8月26日(金) スピードトーク5　12:40～13:20/ コアタイム 13:30～14:30　ポスター会場2
ポスター発表（賞応募ポスター）

P-30 ★ 冷温帯における同所性食肉目動物３種の食性比較
○榎本 孝晃[1,2]，渡部 凌我[2]，斎藤 昌幸[2]（[1]岩手連大，[2]山形大学）

P-31 ★ 分布周縁部における駆除がヒグマ個体群の空間遺伝構造に与える影響
○小田中 温[1]，菊地 静香[1]，福島 那月[1]，伊藤 哲治[2]，石橋 靖幸[3]，佐藤 喜和[1]（[1]酪農学園大学野生動物生態学研究室，[2]酪農学園大学野生鳥獣管理学研究室，[3]森林総合研究所北海道支所）

P-32 ★ ヒグマの着床遅延に伴う免疫系遺伝子発現変動を利用した早期妊娠診断法の検討
○西島 明日香[1]，柳川 洋二郎[2]，松本 直也[3]，萩野 恭伍[3]，坂元 秀行[3]，早川 卓志[4]（[1]北海道大学大学院環境科学院，[2]北海道大学大学院獣医学研究院，[3]のぼりべつクマ牧場，[4]北海道大学大学院地球環境科学研究院）

P-33 ★ 札幌市の家庭菜園における野生動物被害対策の実施状況
○伊藤 泰幹[1]，小川 巌[2]，池田 透[1]（[1]北海道大学文学院，[2]エコ・ネットワーク）

P-34 ★ 北海道中央部におけるヒグマの遺伝的構造解析
○柴田 穂波[1]，佐藤 喜和[1]，釣賀 一二三[2]，白根 ゆり[2]，伊藤 哲治[3]（[1]酪農学園大学野生動物生態学研究室，[2]北海道立総合研究機構，[3]酪農学園大学野生鳥獣管理学研究室）

P-35 ★ ツキノワグマにおける体毛プロゲステロン測定の有用性評価：体毛のホルモンから過去の繁殖を推定できるのか？
○滝 透維[1]，熊木 彩乃[1]，玉谷 宏夫[2]，田中 純平[2]，大嶋 元[2]，山本 俊明[1]，嶌本 樹[1]（[1]日本獣医生命科学大学，[2]NPO法人ピッキオ）

P-36 ★ アズマモグラ（*Mogera imaizumii*）の味蕾に関する組織学的研究
○世取山 結菜，佐々木 剛（東京農業大学大学院）

P-37 ★ 日本産モグラの雄性生殖器の外部形態 2
○紺野 弘毅[1]，小林 秀司[2]（[1]岡山理科大学理学研究科修士課程動物学専攻，[2]岡山理科大学理学部動物学科）

P-38 ★ ヒミズとヒメヒミズにおける頭骨形態の地理的変異比較
○岡部 晋也[1,2]，本川 雅治[3]（[1]京都大学大学院理学研究科，[2]日本学術振興会特別研究員，[3]京都大学総合博物館）

8月26日(金) スピードトーク3　11:30～12:10/ コアタイム 13:30～14:30　ポスター会場3
ポスター発表（賞応募ポスター）

P-39 ★ 日本列島におけるコウモリの群集組成を規定する要因
○牧 貴大，三宮 望，平尾 聡秀，福井 大（東京大学大学院農学生命科学研究科）

P-40 ★ ニホンザルの行動圏と採食物の関係：高知県室戸市の事例
○寺山 佳奈，加藤 元海（高知大学大学院総合人間自然科学研究科）

P-41 ★ エゾナキウサギの硬糞中に見られる被食休眠クマムシ類の出現頻度
○吉田 英利佳[1]，崎山 智樹[2]，片平 浩孝[1]（[1]麻布大学，[2]北海道大学）

P-42 ★ 都市生態系に持ち込まれた病原体はどのように拡まるのか？樹上性リス寄生の外来糞線虫に着目した検証
○江口 勇也[1]，千々岩 哲[2]，嶌本 樹[3]，片平 浩孝[1]（[1]麻布大学生命・環境科学部，[2]株式会社地域環境計画，[3]日本獣医生命科学大学獣医学部）

P-43 ★ 岐阜県および国内におけるヌートリアの生息分布の変遷
○森 悠華，森部 絢嗣（岐阜大学応用生物科学部）

P-44 ★ 沖縄島産オキナワハツカネズミの歯の形態異常
○Thu Wai Min[1]，Okabe Shinya[1]，Motokawa Masaharu[2]（[1]Graduate School of Science, Kyoto University，[2]The Kyoto University Museum, Kyoto University）

P-45 ★ ジリスの第一頚椎に関する機能形態学的考察
○Hyeji Kang (Kyoto University, Graduate School of Science)

P-46 ★ 生後早期の社会的隔離によってデグーの行動発達に生じる影響の雌雄差
○右京 里那[1]，越本 知大[2]，篠原 明男[2]，名倉 悟郎[2]，家入 誠二[3]，坂本 信介[3]（[1]宮崎大学大学院農学工学総合研究科，[2]宮崎大学フロンティア科学総合研究センター実験支援部門生物資源分野，[3]宮崎大学農学部畜産草地科学科）

P-47 ★ タイリクモモンガはなぜ冬季以外の季節でも集団で営巣するのか？
○菊池 隼人，押田 龍夫（帯広畜産大学）

P-48 ★ ハムスター（キヌゲネズミ科キヌゲネズミ亜科）における陰茎の形態および組織学的特徴
○谷戸 崇[1,2]，篠原 明男[3]，本川 雅治[4]（[1]京都大学大学院理学研究科，[2]日本学術振興会特別研究員DC，[3]宮崎大学フロンティア科学総合研究センター，[4]京都大学総合博物館）

8月26日(金) スピードトーク6　12:40～13:20/ コアタイム 13:30～14:30　ポスター会場3
ポスター発表（賞応募ポスター）

P-49 ★ 岡山県高梁川流域におけるカヤネズミ*Micromys minutus*の分布と営巣条件の調査
○大槻 高嶺[1]，小林 秀司[2]（[1]岡山理科大学理学研究科動物学専攻，[2]岡山理科大学理学部動物学科）

P-50 ★ ヒメネズミの繁殖行動に関する基礎研究：巣材の量の変化と繁殖活動との関連性
○佐々木 乃梨，田辺 結葉，本馬 維子，矢野 呼春，照内 歩，村上 葦，菊池 隼人，押田 龍夫 （帯広畜産大学野生動物学研究室）

P-51 ★ 北海道の天然生広葉樹林に生息するエゾモモンガ*Pteromys volans orii*の資源利用
○本馬 維子[1]，矢野 呼春[1]，佐々木 乃梨[1]，田辺 結葉[1]，照内 歩[1]，村上 葦[1]，菊池 隼人[1]，内海 泰弘[2]，押田 龍夫[1]（[1]帯広畜産大学，[2]九州大学）

P-52 ★ 多雪環境におけるニホンノウサギの休息場選択
○鈴木 唯夏，鈴木 美緒，渡部 凌我，斎藤 昌幸（山形大学農学部）

P-53 ★ ケナガネズミ*Diplothrix legata*幼獣のハシブトガラス*Corvous macrorhynchos*による捕食事例
○東 哲平[1]，小林 峻[2]（[1]琉球大学理学部理工学研究科，[2]琉球大学理学部）

P-54 ★ 冷温帯におけるニホンリスの生息地としてのスギ人工林の評価
○本田 鈴香，斎藤 昌幸（山形大学大学院農学研究科）

P-55 ★ 君はタイリクモモンガの鳴き声を知っているか？
○佐々木 里菜，浅利 裕伸（帯広畜産大学）

P-56 ★ 山口県の人工林に生息するニホンヤマネ（*Glirulus japonicus*）の冬眠中の中途覚醒
○末廣 春香[1]，田中 浩[2]，細井 栄嗣[1]（[1]山口大学大学院創成科学研究科，[2]山口県立博物館）

P-57 ★ Ecological study on the habitat of Flying squirrels (*Pteromys Volans orri*) inhabiting the suburbs of the urban area: Focusing on the interactions with the specific exotic raccoon(*Procyon lotor*)
○賈 イ，池田 透（北海道大学）

口頭発表

8月26日(金) 9:15～11:15 ルームA
口頭発表

OA1-01 9:15～9:30
対症療法的アライグマ防除対策からの脱却を目指した思決定支援システムの開発
○池田 透[1]，鈴木 嵩彬[2]（[1]北海道大学，[2]岐阜大学）

OA1-02 9:30～9:45
事例から考える自治体が主導するアライグマ捕獲対策の可能性と限界
○山口 沙耶，上野 真由美（北海道立総合研究機構）

OA1-03 9:45～10:00
アライグマ卵透明帯ZP3由来避妊ワクチン抗原に対する雌アライグマの免疫反応
○淺野 玄，佐藤 広大，木村 聡志（岐阜大学応用生物科学部）

OA1-04 10:00～10:15
１.5万匹のイエネコの行動をCatlogで見る
○渡辺 伸一，新田 翔，眞嶋 啓介，浦田 拓真，野原 友幸（Catlog総合研究所，株式会社RABO）

OA1-05 10:15～10:30
札幌市における都市ギツネの定着過程
○浦口 宏二（北海道立衛生研究所）

OA1-06 10:30～10:45
バイオロギング・ウェアラブルカメラ端末を用いた野生ツキノワグマ(*Ursus thibetanus*）の生態解明
○森光 由樹（兵庫県立大学）

OA1-07 10:45～11:00
岩手県におけるヘア・トラップ法を用いたツキノワグマの生息数推定
○鞍懸 重和[1]，山内 貴義[2]（[1]岩手県環境保健研究センター，[2]岩手大学農学部）

OA1-08 11:00～11:15
探索犬による採集糞を用いた外来種フィリマングースの生息密度推定
○佐藤 拓真[1]，深澤 圭太[2]，中田 勝士[3]，福原 亮史[3]，城ヶ原 貴通[1]（[1]沖縄大学，[2]国立環境研究所，[3]南西環境研究所）

8月26日(金) 9:15～11:15 ルームB
口頭発表

OB1-01 9:15～9:30
福岡と対馬のニホンカワウソ分子系統進化
○和久 大介[1]，佐々木 浩[2]（[1]東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科，[2]筑紫女学園大学現代社会学部現代社会学科）

OB1-02 9:30～9:45
瀬戸内海島嶼アカネズミの遺伝的分化は古代河川により引き起こされた
○佐藤 淳，安田 皓輝（福山大学生物工学科）

OB1-03 9:45～10:00
岡山県真庭市蒜山の火入れ草原におけるアカネズミ個体群の季節変化
○中本 敦[1]，柴山 理彩[2]，伴 美佳[2]（[1]岡山理科大学理学部，[2]岡山理科大学大学院理学研究科）

OB1-04 10:00～10:15
小型齧歯類の個体数と果実の利用可能性の関係
○伊藤 友仁，辻 大和（石巻専修大学理工学部）

OB1-05 10:15～10:30
ヌートリア*Myocastor coypus* の発声機構の形態
○八神 未千弘[1]，湯川 梨沙子[2]，大槻 高嶺[1]，紺野 弘毅[1]，託見 健[2]，河村 功一[3]，宮崎 多恵子[3]，小林 秀司[2]（[1]岡山理科大学大学院理学研究科修士課程動物学専攻，[2]岡山理科大学理学部動物学科，[3]三重大学大学院生物資源学研究科）

OB1-06 10:30～10:45
真無盲腸類の鼻甲介の進化
○伊藤 海[1,2]，小寺 稜[2]，子安 和弘[3]，Martinez Quentin [4]，久保 麦野[1]（[1]東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻，[2]鶴見大学歯学部解剖学講座，[3]愛知学院大学歯学部解剖学教室，[4]シュツットガルト州立自然史博物館）

OB1-07 10:45～11:00
モグラ2種のミミズ摂食速度と頭骨形態計測値　ー特にミミズの不動化手法の検討について
石川 雄大[1]，高木 南緒[1]，○横畑 泰志[2]（[1]富山大学理学部生物圏環境科学科，[2]富山大学理学部自然環境科学科）

OB1-08 11:00～11:15
ヒメトガリネズミ*Sorex gracillimus*における出産事例について
○小林 木野実[1]，本田 直也[1]，飯島 なつみ[1]，大舘 智志[2]，河合 久仁子[3]（[1]札幌市円山動物園，[2]北海道大学低温科学研究所，[3]東海大学生物学部生物学科）

8月26日(金) 9:15～11:15 ルームC
口頭発表

OC1-01 9:15～9:30
噴火湾に来遊するカマイルカの行動調査
○北 夕紀，對馬 里歩，笹森 琴絵（東海大学生物学部）

OC1-02 9:30～9:45
飼育イルカ成獣における隊列遊泳時の抵抗軽減効果
○西村 大我[1]，森 朋子[2]，榊原 正己[2]，酒井 麻衣[1]（[1]近畿大学大学院農学研究科水産学専攻，[2]名古屋港水族館）

OC1-03 9:45～10:00

根室海峡におけるシャチの群れ構成とコールタイプの出現頻度
○北浦　愛望[1,2]，小川 千尋[2]，大泉 宏[2]，北 夕紀[3]，斎野 重夫[4]，中原 史生[5]，三谷 曜子[6]，吉岡 基[7]（[1]常磐大学大学院人間科学研究科，[2]東海大学海洋学部，[3]東海大学生物学部，[4]神戸動植物環境専門学校，[5]常磐大学人間科学部，[6]京都大学野生動物研究センター，[7]三重大学大学院生物資源学研究科）

OC1-04　10:00～10:15
飼育シャチにおける母子間社会行動の発達
○元村 嘉宏[1]，神田 幸司[2]，漁野 真弘[2]，金野 征記[3]，酒井 麻衣[1]（[1]近畿大学大学院農学研究科水産学専攻，[2]名古屋港水族館，[3]鴨川シーワールド）

OC1-05　10:15～10:30
採餌域における若いオスのマッコウクジラの個体間距離
○百瀬 円紀[1]，小林 駿[2]，天野 雅男[1]（[1]長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科，[2]東京農業大学生物産業学部）

OC1-06　10:30～10:45
海洋環境データを用いた噴火湾に来遊するカマイルカの生態把握調査
○黒崎 菜摘，笹森 琴絵，北 夕紀（東海大学生物学部）

OC1-07　10:45～11:00
長崎県に漂着したハンドウイルカ（*Tursiops truncatus*）の食性 について
○能登 文香[1]，天野 雅男[2]（[1]長崎大学水産学部，[2]長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）

OC1-08　11:00～11:15
紀伊半島沖におけるカズハゴンドウ(*Peponocephala electra*)の食性の種内変異
○高橋 未彩，大泉 宏（東海大学大学院海洋学研究科）

自由集会

8月26日(金)　14:50～16:50　ルームD
自由集会

F1　14:50～16:50
ワークショップ「知られざる食肉目動物の世界～東欧と日本」
○増田 隆一（北海道大学大学院理学研究院生物科学部門）

8月26日(金)　14:50～16:50　ルームE
自由集会

F2　14:50～16:50
ニホンジカ研究と管理のこれまでとこれから
○飯島 勇人[1]，鈴木 牧[2]，宇野 裕之[3]，梶 光一[3]（[1]森林総研，[2]東大院・新領域，[3]東京農工大）

8月26日(金)　14:50～16:50　ルームF
自由集会

F3　14:50～16:50
イノシシの豚熱（CSF）感染拡大と生息密度の変動をいかに把握するか？
○横山 真弓[1]，鈴木 正嗣[2]（[1]兵庫県立大学，[2]岐阜大学）

8月26日(金)　17:00～19:00　ルームD
自由集会

F4　17:00～19:00
海棲哺乳類学への多様なアプローチ
○三谷 曜子[1]，森阪 匡通[2]（[1]京都大学，[2]三重大学）

8月26日(金)　17:00～19:00　ルームE
自由集会

F5　17:00～19:00
自動撮影カメラ映像のオープンデータベースの構築に向けて
○中島 啓裕[1]，飯島 勇人[2]，深澤 圭太[3]，安藤 正規[4]，相澤 宏旭[5]（[1]日本大学生物資源科学部，[2]森林総合研究所，[3]国立環境研究所，[4]岐阜大学応用生物科学部，[5]広島大学先進理工系科学研究科 ）

8月26日(金)　17:00～19:00　ルームF
自由集会

F6　17:00～19:00
保護管理のための要望書や意見書のあり方を考える
○常田 邦彦[1]，石井 信夫[2]，淺野 玄[3]（[1]自然環境研究センター，[2]東京女子大学，[3]岐阜大学応用生物科学部）

8月27日(土)
ポスター発表（賞非応募ポスター）

賞非応募ポスター（無印）のスピードトークは8月27日(土) 10:40～11:40（P58～P70,P71～83,P84～95）
コアタイムは8月27日(土) 11:50～12:50（P58～P95）

8月27日(土) スピードトーク7　10:40～11:40/ コアタイム 11:50～12:50　ポスター会場1
ポスター発表（賞非応募ポスター）

P-58　SOAPを用いた鳥獣害対策診断用のカルテの開発
○吉田 洋（徳島県那賀町役場/合同会社獣害対策研究所）

P-59　コンクリートブロックを利用したイノシシへの効果的な経口ワクチンの摂取方法

○西村 光由，石井 直樹，石原 元浩（愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫研究室）

P-60　カバの口はどれほど大きく開くのか
○森 健人（一般社団法人路上博物館）

P-61　カメラトラップによるニホンジカおよびカモシカの長期モニタリング
○中森 さつき[1]，野澤 秀倫[2]，船津 沙月[3]，安藤 正規[3]（[1]アジア航測株式会社，[2]岐阜大学大学院自然科学技術研究科，[3]岐阜大学応用生物科学部）

P-62　東京都青梅丘陵における糞分析法によるニホンカモシカの食性
○小池 伸介，前田 七海（東京農工大）

P-63　丹沢地域における二ホンジカの性別・季節・行動に関する生息地利用特性
○姜 兆文[1]，森 洋佑[1]，永田 幸志[2]，羽根田 貴行[1]，三橋 亜紀[1]，三井 夏紀[1]，永井 広野[2]（[1]株式会社野生動物保護管理事務所，[2]神奈川県自然環境保全センター）

P-64　農地の利用頻度が高い野生シカはウシ病原体の伝播リスクが高いか?−リスク評価に向けた解析の試み−
○秦 彩夏[1]，須田 遊人[2]，小坂井 千夏[1]，中下 留美子[3]（[1]農研機構・畜産研究部門，[2]農研機構・動物衛生研究部門，[3]森林総合研究所）

P-65　様々な仕様のくくり罠を用いた性能評価に関する研究
○藏戸 新[1]，山本 麻希[2]，神吉 能宣[3]（[1]長岡技術科学大学工学部生物機能工学専攻野生動物管理工学研究室，[2]長岡技術科学大学工学部物質生物系准教授，[3]村上市山北支所地域振興課自治振興室村上市地域おこし協力隊）

P-66　盛岡市猪去地区におけるイノシシによる農作物及び土地被害の実態
○鎌田 朋弥[1]，大竹 崇寛[2,3]，出口 善隆[4]（[1]岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻動物科学コース，[2]岩手大学大学院連合農学研究科，[3]株式会社野生動物保護管理事務所，[4]岩手大学農学部）

P-67　中国地方におけるニホンジカ分布拡大状況
○八代田 千鶴，岡 輝樹（森林総合研究所）

P-68　豚熱の感染拡大にともなう大阪府内イノシシ生息密度の減少状況
○幸田 良介，石塚 譲（大阪環農水研・生物多様性C）

P-69　飼育ハンドウイルカ母子ペアのラビングの観察：ラビングは体表面のケアの機能を持つ
○酒井 麻衣[1]，勝俣 浩[2]，幸島 司郎[3]（[1]近畿大学農学部水産学科海棲哺乳類学研究室，[2]鴨川シーワールド，[3]京都大学野生動物研究センター）

P-70　房総半島の万田野層（チバニアン階）産鯨類前肢骨化石
○丸山 啓志[1]，一藁 雅之[2]，杉田 雄一[3]，松浦 良彦[3]，伊左治 鎮司[1]，加藤 久佳[1]（[1]千葉県立中央博物館，[2]茂原市，[3]千葉市）

8月27日(土) スピードトーク8　10:40〜11:40/ コアタイム 11:50〜12:50　ポスター会場2
ポスター発表（賞非応募ポスター）

P-71　外来哺乳類の侵入を回避するバイオセキュリティ　ーマングース根絶後の奄美大島を事例として考えるー
○橋本 琢磨，後藤 義仁，諸澤 崇裕，川本 朋慶，入口 友香，荒谷 友美，浅野 真輝（一般財団法人自然環境研究センター）

P-72　出生後のハクビシン（*Paguma larvata*）頭蓋における骨性小脳テントの形態形成過程
○子安 和弘，池田 やよい（Department of Anatomy, School of Dentistry, Aichi Gakuin University）

P-73　農作物を利用するツキノワグマの行動変化
○瀧井 暁子[1]，林 穣[2]，大澤 博光[3]，泉山 茂之[1]（[1]信州大学山岳科学研究拠点，[2]信州大学大学院総合理工学研究科，[3]信州大学農学部農学生命科学科）

P-74　都市環境下におけるホンドタヌキの生息環境利用パターン
○長谷川 綾香[1,2]，塙 悠希[1]，渡 壮平[1,3]，山﨑 晃司[1]（[1]東京農業大学，[2]農研機構，[3]公益財団法人 東京都環境公社）

P-75　外来タヌキがヤクシカを食う：屋久島・世界遺産地域における哺乳類の腐肉食に関する事例報告
○栗原 洋介（静岡大学農学部）

P-76　岩手県盛岡市手代森地区に生息するニホンアナグマの巣穴周辺での行動
○久道 和登[1]，三上 真穂[2]，出口 善隆[2]（[1]岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻動物科学コース，[2]岩手大学農学部）

P-77　都市緑地における、中型哺乳類に対する建設工事の影響
安井 理香，○上遠 岳彦（国際基督教大学）

P-78　オスツキノワグマ(*Ursus thibetanus*)における血中テストステロン濃度に関連する要因の分析
○冨安 洵平[1]，茅野 光範[2]，硲野 健[3]，松井 基純[2]，根本 唯[4]，長沼 知子[5]，小池 伸介[6]，山﨑 晃司[4]（[1]ポーランド科学アカデミー，[2]帯広畜産大学，[3]JA全農ET研究所，[4]東京農業大学，[5]農研機構，[6]東京農工大学）

P-79　特定復興再生拠点区域周辺におけるアライグマの行動特性の把握
○中村 大輔[1]，吉田 雅貴[2]，小坂井 千夏[1]，藤本 竜輔[1]，星 典宏[3]，竹内 正彦[1]（[1]農研機構畜産研，[2]福島農総セ浜再生研，[3]農研機構東北研）

P-80　テンの垂直棒を登る能力と加齢に伴う変化
○上田 弘則，堂山 宗一郎，石川 圭介（農研機構畜産研究部門動物行動管理グループ）

P-81　長野県伊那市周辺で錯誤捕獲されたツキノワグマの炭素・窒素安定同位体比
○中下 留美子[1]，瀧井 暁子[2]，泉山 茂之[2]（[1]森林総合研究所，[2]信州大山岳科学研究拠点）

P-82　中型哺乳類の新奇物に対する忌避行動における種間差異の検討
○小泉 亮子[1]，小泉 透[2]（[1]農研機構畜産研究部門，[2]森林総合研究所多摩森林科学園）

P-83　獣害防止柵再考
○本田 剛（山梨県総合農業技術センター）

8月27日(土) スピードトーク9　10:40〜11:40/ コアタイム 11:50〜12:50　ポスター会場3
ポスター発表（非応募ポスター）

P-84　ランダムエンカウンターモデル（REM）による群れ集団の個体密度推定
○林 耕太[1]，飯島 勇人[2]（[1]山梨県森林総合研究所，[2]森林総合研究所）

P-85　札幌市円山動物園におけるコウモリの長期音声モニタリングから明らかになったこと
○河合 久仁子[1]，上山 隼平[2]，伊藤 映流[1]，染木 早絢[1]，大場 悠希[1]（[1]東海大学生物学部生物学科，[2]東海大学生物学研究科）

P-86　島根県で秋から初冬に確認されるヒナコウモリ属 *Vespertilio* sp. のソーシャルコールについて
○安藤 誠也[1]，石田 麻里[2]，畑瀬 淳[3]，上野 吉雄[4]，小沼 仁美[5]（[1]島根県立三瓶自然館，[2]美祢市立秋吉台科学博物館，[3]広島市安佐動物公園，[4]西中国山地自然史研究会，[5]島根県中山間地域研究センター）

P-87　京都府におけるミトコンドリアDNAの系統関係を考慮したニホンザル（*Macaca fuscata*）の群れ管理方針の策定
○加藤 敬介[1]，海老原 寛[1]，伊藤 哲治[2]，川本 芳[3]（[1]株式会社野生動物保護管理事務所，[2]酪農学園大学，[3]日本獣医生命科学大学）

P-88　2021年度冬季における富山県東部の黒部峡谷における哺乳類の洞窟利用
○柏木 健司（富山大学理学部自然環境科学科）

P-89　捕獲により群れサイズが減少したニホンザル群の行動圏利用の変化
○海老原 寛，藏元 武藏（野生動物保護管理事務所）

P-90　銃器と箱わなを組み合わせたニホンザル加害群の群れ捕獲

○清野 紘典[1]，後藤 光章[2]（[1]株式会社野生動物保護管理事務所，[2]Wildlife Service）

P-91 イリジウムGPS首輪のニホンザル装着実証試験
○三木 清雅[1]，内藤 ゆかり[2]，清野 紘典[1]，藏元 武藏[1]（[1]株式会社野生動物保護管理事務所，[2]株式会社ティンバーテック）

P-92 特定外来生物クリハラリス無人島個体群における化学的防除
○安田 雅俊（森林総研九州支所）

P-93 アカネズミ染色体種族間の交雑帯が維持される要因について
○明主 光[1]，原田 正史[2]，岩佐 真宏[1]（[1]日本大学生物資源科学部，[2]大阪市立大学）

P-94 カヤネズミの越冬巣内の温度変化と計測方法の課題
○中村（澤邊） 久美子（滋賀県立琵琶湖博物館）

P-95 北海道知床半島におけるユキウサギの冬季生息環境利用に対するエゾシカの影響
○村上 隆広[1]，山中 正実[2]，石名 坂豪[2]，村上 拓弥[2]，岡田 秀明[3]（[1]ヤマザキ動物看護大学動物看護学部動物人間関係学科，[2]公益財団法人 知床財団，[3]斜里町教育委員会）

口頭発表

8月27日(土) 9:00～10:30 ルームA
口頭発表

OA2-01 9:00～9:15
ため池におけるコウモリ類の音声モニタリング
○野呂 達哉（四日市大学環境情報学部）

OA2-02 9:15～9:30
コウモリ類における四肢形成の時間的変異と飛行・把持能力進化
○野尻 太郎[1]，Werneburg Ingmar[2]，Vuong Tan Tu[3]，福井 大[4]，古寺 敏子[1]，武智 正樹[1]，小薮 大輔[5]（[1]順天堂大学大学院医学研究科，[2]テュービンゲン大学，[3]ベトナム科学技術アカデミー，[4]東京大学，[5]筑波大学）

OA2-03 9:30～9:45
三次元幾何学的形態測定法を用いたニホンキクガシラコウモリの頭骨形態変異解析
○池田 悠吾[1]，Kim Yoo-kyung[2]，Oh Hongshik[3]，本川 雅治[4]（[1]京都大学理学研究科，[2]Subtropical Livestock Research Institute, National Institute of Animal Science，[3]Faculty of Science Education, Jeju National University，[4]京都大学総合博物館）

OA2-04 9:45～10:00
正規化植生指数NDVIから検討した石川県白山市のニホンザルの利用標高の季節変化の原因について
○大井 徹，藤原 洋一（石川県立大学生物資源環境学部）

OA2-05 10:00～10:15
岩手県五葉山地域に生息するニホンザルの生息状況
○宇野 壮春，関 健太郎，小野田 泰士，田崎 駿平，高岡 裕大，筒井 颯，今野 文治，木野田 拓也（合同会社東北野生動物保護管理センター）

OA2-06 10:15～10:30
五葉山地域のニホンザル個体群に関する遺伝学的調査
○川本 芳[1]，宇野 壮春[2]，大井 徹[3]（[1]日本獣医生命科学大学獣医学部，[2]東北野生動物保護管理センター，[3]石川県立大学生物資源環境学部）

8月27日(土) 9:00～10:30 ルームB
口頭発表

OB2-01 9:00～9:15
犬を用いた野生動物による農地への侵入防止効果の検証
○中林 雅[1]，柳楽 倫[2]（[1]広島大学，[2]NPO法人縄文柴犬研究センター）

OB2-02 9:15～9:30
機械学習を用いた鹿の子模様によるニホンジカの個体識別の試み
○明石 涼[1]，砂川 純也[1]，三浦 光[2]，中岡 慎治[1]，早川 卓志[3]（[1]北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻生命融合科学コース数理生物学研究室，[2]株式会社カネカ プロセス開発研究所，[3]北海道大学大学院地球環境科学研究院環境生物科学部門生態遺伝学分野早川研究室）

OB2-03 9:30～9:45
ライトセンサスにおける調査手法の検証：サーマルカメラの応用
○吉田 真悟，大西 勝博，冨田 大陸，奥村 忠誠（株式会社野生動物保護管理事務所）

OB2-04 9:45～10:00
カメラトラップによるニホンジカの繁殖率の推定精度の検証
○西 龍汰[1]，樋口 尚子[2]，塚田 英晴[1]，南 正人[2,1]（[1]麻布大学，[2]NPO法人生物多様性研究所あーすわーむ）

OB2-05 10:00～10:15
カメラトラップにおけるウリボウの初認日から推定されたイノシシ雌の受胎日の地域差とその要因
○大森 鑑能[1]，七條 知哉[1]，池田 敬[2,1]，東出 大志[1,2]，鈴木 嵩彬[1]（[1]岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター，[2]岐阜県野生動物管理推進センター）

OB2-06 10:15～10:30
ニホンジカの爆発的増加と崩壊：そのメカニズムを探る
○梶 光一[1,2]，竹下 和貴[3]（[1]東京農工大学，[2]兵庫県森林動物研究センター，[3]東洋大学生命科学部応用生命科学科）

8月27日(土) 9:00～10:30 ルームC
口頭発表

OC2-01 9:00～9:15
えりも地域におけるゼニガタアザラシのコンブ繁茂への寄与度
○小林 万里[1]，田口 翔太[1]，栗林 貴範[2]，東 典子[1]，生田 駿[3]（[1]東京農業大学生物産業学部，[2]地方独立行政法人 北海道立総合研究機構，[3]くまげら庵）

OC2-02 9:15～9:30
ゴマフアザラシの体毛は変形する
○西田 由香里[1]，長瀬 忍[1]，佐賀 真一[2]，坂東 元[2]（[1]花王株式会社ヘアケア研究所，[2]旭川市旭山動物園）

OC2-03 9:30～9:45
アシカ類の陸上歩行時における後肢挙動の解析と陸棲跡行性動物との比較
○水野 史博[1]，甲能 直樹[1,2]（[1]筑波大学大学院，[2]国立科学博物館）

OC2-04 9:45～10:00

フタユビナマケモノ前肢の受動的爪ロック機構
○加藤 健太[1]，藤原 慎一[2]（[1]名古屋大学環境学研究科，[2]名古屋大学博物館）

0C2-05 10:00～10:15
機械学習を用いた保護毛鱗片画像による種判別法の検討
○西脇 慶[1]，森部 絢嗣[2]（[1]岐阜大学大学院自然科学技術研究科，[2]岐阜大学応用生物科学部）

0C2-06 10:15～10:30
八丈島ザトウクジラの予備的な集団遺伝学的解析
○宮城 真鈴[1]，上田 真久[1]，中村 玄[1]，村瀬 弘人[1]，田口 美緒子[2]，勝俣 太貴[2]，後藤 睦夫[2]，田村 真吾[3]，山越 整[4]（[1]東京海洋大学鯨類学研究室，[2]日本鯨類研究所，[3]八丈島観光協会，[4]八丈町）

自由集会

8月27日(土) 13:00～15:00 ルームD
自由集会

F7 13:00～15:00
ポスト半減目標～シカと人の未来を考える～
○岸本 康誉[1]，八代田 千鶴[2]，大場 孝裕[3]（[1]株式会社野生動物保護管理事務所，[2]森林総合研究所関西支所，[3]静岡県西部農林事務所）

8月27日(土) 13:00～15:00 ルームE
自由集会

F8 13:00～15:00
全ゲノム解析を活用した多様な哺乳類研究
○松本 悠貴[1,2]，木下 豪太[3]（[1]アニコム先進医療研究所株式会社，[2]麻布大学，[3]国立遺伝学研究所）

8月27日(土) 13:00～15:00 ルームF
自由集会

F9 13:00～15:00
都市における食肉目動物研究6： 軋轢と共生のバランスとは
○金子 弥生[1]，天池 庸介[2]，渡辺 茂樹[3]（[1]東京農工大学，[2]北海道大学，[3]ASWAT）

8月27日(土) 13:00～15:00 ルームG
自由集会

F10 13:00～15:00
カモシカの研究の最近2022
○饗場 木香[1]，高田 隼人[2]，伊藤 哲治[3]，川本 芳[4]，手塚 夏季[5]（[1]自然環境研究センター，[2]山梨県富士山科学研究所，[3]酪農学園大学，[4]日本獣医生命科学大学，[5]東京農業大学）

8月27日(土) 15:10～17:10 ルームD
自由集会

F11 15:10～17:10
地方大学で進める哺乳類研究：北国・雪国のフィールドワークへの誘い
○斎藤 昌幸，江成 広斗（山形大学農学部）

8月27日(土) 15:10～17:10 ルームE
自由集会

F12 15:10～17:10
「現場で求められる野生動物管理の人材育成」～人材育成団体が進めるこれまでの成果と課題～
○森光 由樹[1,2]，望月 翔太[3,4]，伊吾田 宏正[5,6]，鈴木 克哉[7,2]，宇野 裕之[8]（[1]兵庫県立大学，[2]ニホンザル管理協会，[3]福島大学，[4]鳥獣管理技術協会，[5]酪農学園大学 ，[6]エゾジカ協会，[7]里地里山問題研究所，[8]東京農工大学）

8月27日(土) 15:10～17:10 ルームF
自由集会

F13 15:10～17:10
身近な外来哺乳類イエネコの問題をどのように研究するか？
○徳吉 美国[1]，亘 悠哉[2]（[1]東京大学，[2]森林総合研究所）

8月29日(月)
口頭発表

8月29日(月) 9:00～10:45 ルームA
口頭発表

0A4-01 9:00～9:15
イノシシ個体群における豚熱経口ワクチンの摂食率に及ぼす要因の解明
○池田 敬[1,2]，東出 大志[1,2]，鈴木 嵩彬[1]，淺野 玄[3]（[1]岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター，[2]岐阜県野生動物管理推進センター，[3]岐阜大学応用生物科学部）

0A4-02 9:15～9:30
地域主体の防護柵管理と併せた加害個体捕獲による、イノシシ、シカの被害軽減効果 -アクションリサーチによる被害・意識改善の定量・定性的な評価-
○山端 直人（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）

0A4-03 9:30～9:45

経路選択関数（Step Selection Function）を用いたニホンジカの捕獲効率向上のための検討：高標高草地におけるケーススタディー
○大西 勝博，奥村 忠誠，吉田 真悟，冨田 大陸（野生動物保護管理事務所）

OA4-04 9:45～10:00

Seasonal home range and habitat selection patterns of sika deer Cervus nippon in southern Hokkaido, Japan
○Lauretta Andrew Laneng[1], Tachiki Yasuyuki[2], Rika Akamatsu[3], Kohei Kobayashi[3], Chihiro Takahata[1], Futoshi Nakamura[1] ([1]Department of Forest Science, Graduate School of Agriculture, Hokkaido University, [2]Rakuno Gakuen University, [3]EnVision Conservation Office)

OA4-05 10:00～10:15

北海道釧路地域におけるニホンジカの生息密度および捕獲率の局所性～四半世紀を超える長期観測データより～
○上野 真由美[1]，飯島 勇人[2]，稲富 佳洋[1]，宇野 裕之[3]，山口 沙耶[1]（[1]北海道立総合研究機構，[2]森林総合研究所，[3]東京農工大学）

OA4-06 10:15～10:30

高山草原におけるシカとカモシカの個体数および生息地選択解明に向けたドローン観測手法の確立
○伊藤 健彦[1]，福江 佑子[2]，南 正人[1,2]（[1]麻布大学，[2]NPO法人生物多様性研究所あーすわーむ）

OA4-07 10:30～10:45

くくり罠による錯誤捕獲がニホンカモシカに与える悪影響
○長崎 亜湖[1]，大塚 里沙[1]，須田 千鶴[1]，近清 弘晃[1]，井上 孝大[1]，竹下 毅[2]，塚田 英晴[1]，南 正人[1,3]（[1]麻布大学，[2]長野県小諸市農林課，[3]NPO法生物多様性研究所あーすわーむ）

8月29日(月) 9:00～11:00 ルームB
口頭発表

OB4-01 9:00～9:15

胃内容物からみたイリオモテヤマネコにおける成長段階間の食性比較
○中西 希，伊澤 雅子（北九州市立自然史・歴史博物館）

OB4-02 9:15～9:30

二ホンアナグマの食性の長期変化
四釜 佑規，○辻 大和（石巻専修大学理工学部）

OB4-03 9:30～9:45

ニホンアナグマの小規模巣穴における食肉目動物4種の利用の季節変化
○髙田 雄介[1]，角田 裕志[2]，金子 弥生[1]（[1]東京農工大学，[2]埼玉県環境科学国際センター）

OB4-04 9:45～10:00

集落周辺を利用するツキノワグマの局所的な空間利用：時空間的な要因を考慮して
○森 智基[1,2]，泉山 茂之[1]（[1]信州大学農学部山岳科学研究拠点，[2]日本学術振興会特別研究員PD(名城大学)）

OB4-05 10:00～10:15

大豆畑に依存したツキノワグマの食性状況及びタンパク質摂取量の評価
○渡邉 颯太[1]，鞍懸 重和[2]，山内 貴義[3]（[1]岩手大学大学院総合科学研究科，[2]岩手県環境保健研究センター，[3]岩手大学農学部森林科学科）

OB4-06 10:15～10:30

多摩川河川敷における食肉目動物4種の春と夏の環境選択の季節変化
○周 浩羽[1]，久保嶋 江実[2]，金子 弥生[1]（[1]東京農工大学食肉目動物保護学研究室，[2]NHKエンタープライズ）

OB4-07 10:30～10:45

ニホンジカ侵入直後および侵入数年後の小島におけるタヌキとニホンテンの食性変化
○谷口 司[1]，土井 瑠奈[1]，青木 美月[1]，堀地 笑菜[1]，久保 浩太郎[2]，井上 英治[2]，南 正人[1,3]，塚田 英晴[1]（[1]麻布大学，[2]東邦大学，[3]NPO法人生物多様性研究所あーすわーむ）

OB4-08 10:45～11:00

海洋島北大東島における外来哺乳類および鳥類の生息状況
○小林 峻[1]，伊澤 雅子[2]，堀江 明香[3]，佐々木 健志[4]，傳田 哲郎[1]（[1]琉球大学理学部，[2]北九州市立自然史・歴史博物館，[3]大阪自然史博物館，[4]琉球大学博物館）

8月29日(月) 9:00～10:45 ルームC
口頭発表

OC4-01 9:00～9:15

日本における外来種の侵入が引き起こす経済的コスト
○亘 悠哉[1]，小峰 浩隆[2,1]，Angulo Elena[3,4]，Diagne Christophe[3]，Ballesteros-Mejia Liliana[3]，Courchamp Franck[3]（[1]森林総合研究所，[2]山形大学，[3]Université Paris-Saclay, CNRS, AgroParisTech, Ecologie Systématique Evolution, Paris, France, [4]Estacion Biologica de Doñana (EBD-CSIC), Seville, Spain）

OC4-02 9:15～9:30

高解像度衛星画像に基づく尖閣諸島魚釣島の2000～2019年の裸地面積の変遷
吉村 一倫[1]，金子 正美[2]，星野 仏方[2]，○横畑 泰志[3]（[1]富山大学大学院理工学教育部，[2]酪農学園大学農食環境学群，[3]富山大学理学部自然環境科学科）

OC4-03 9:30～9:45

観察機会向上に向けたカメラトラップによる同所性哺乳類の日周活動性評価
○重松 雅史，土方 宏治，原田 知実，篠原 郁哉，南 正人，塚田 英晴（麻布大学野生動物学研究室）

OC4-04 9:45～10:00

岐阜県における豚熱拡散防止を意図した柵の概要と哺乳類の横断状況
○鈴木 嵩彬[1]，池田 敬[1,2]，東出 大志[1,2]，野瀬 紹未[3]，七條 知哉[1]，鈴木 正嗣[1,2,4]（[1]岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター，[2]岐阜県野生動物管理推進センター，[3]北海道大学大学院文学院，[4]岐阜大学応用生物科学部）

OC4-05 10:00～10:15

自動撮影カメラによる野生動物の相対密度の空間的モニタリングの試み
○東出 大志[1,2]，池田 敬[1,2]，鈴木 嵩彬[1]，七條 知哉[1]，日下部 智一[3,2]（[1]岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター，[2]岐阜県野生動物管理推進センター，[3]岐阜県環境生活部環境生活政策課

OC4-06 10:15～10:30

福島第一原発事故による放射性物質汚染地域の野ネズミにおける放射性セシウムの母から胎児への移行と個体群への影響
○山田 文雄[1]，友澤 森彦[2]，奥田 圭[3]，菊池 文一[4]，小泉 透[1]，大井 徹[1]，堀野 眞一[1]，亘 悠哉[1]，島田 卓哉[1]（[1]森林総合研究所，[2]慶応大学，[3]広島修道大学，[4]多摩動物公園）

OC4-07 10:30～10:45

ニホンジカ（*Cervus nippon*）により衰退した下層植生における2種の野ネズミ（Apodemus argenteusとApodemus speciosus）を対象としたDNAメタバーコディングによる摂食戦略の解明
○ファジュリン シディック[1,2]，井鷺 裕司[1]，高柳 敦[1]（[1]Forest and Biomaterials Science Division, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, [2]Reseach Center for Applied Zoology, National Research and Innovation Agency (BRIN)）

自由集会

8月29日(月)　11:30～13:30　ルームD
自由集会

F14　11:30～13:30
野生動物とともに拡がるマダニ媒介感染症の脅威とワンヘルスアプローチ
○森嶋 佳織[1]，土井 寛大[1]，立本 完吾[2]，山藤 栄一郎[3]，淺野 玄[4]，亘 悠哉[1]（[1]森林総合研究所，[2]国立感染症研究所，[3]福島県立医科大学，[4]岐阜大学）

8月29日(月)　11:30～13:30　ルームE
自由集会

F15　11:30～13:30
錯誤捕獲問題に学会としてどう取り組んでいくべきか
「実態把握のための情報収集」と「発生防止のための技術開発」について議論を深める
○小坂井 千夏[1]，八代田 千鶴[2]，荒木 良太[3]，哺乳類保護管理専門委員会 錯誤捕獲WG（[1]農研機構，[2]森林総合研究所，[3](一財)自然環境研究センター）

8月29日(月)　11:30～13:30　ルームF
自由集会

F16　11:30～13:30
イルカの資源生態学～個体群の保全管理に向けた生態学と最新知見～
○金治 佑[1]，前田 ひかり[1]，船坂 徳子[2]，村瀬 弘人[3]（[1]水産研究・教育機構，[2]三重大学，[3]東京海洋大学）

8月29日(月)　14:00～16:00　ルームD
自由集会

F17　14:00～16:00
自動撮影カメラを用いた「面白い」基礎研究Ⅱ
○矢島 豪太（日本大学）

8月29日(月)　14:00～16:00　ルームE
自由集会

F18　14:00～16:00
哺乳類の歯の形態進化を考える～最近の知見と伝統的な学説を総合して～
○浅原 正和[1]，原野 智広[1]，岡部 晋也[2]，山中 淳之[3]（[1]愛知学院大学教養部生物学教室，[2]京都大学大学院理学研究科，[3]鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

8月29日(月)　14:00～16:00　ルームF
自由集会

F19　14:00～16:00
日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会および作業部会の活動方針
○淺野 玄[1]，山崎 晃司[2]，八代田 千鶴[3]，池田 透[4]（[1]岐阜大学応用生物科学部，[2]東京農業大学地域環境科学部，[3]森林機構森林総合研究所，[4]北海道大学文学部）